

人・農地プラン アンケート集計

馬見・上郷

広陵町役場 地域振興課

年齢構成について

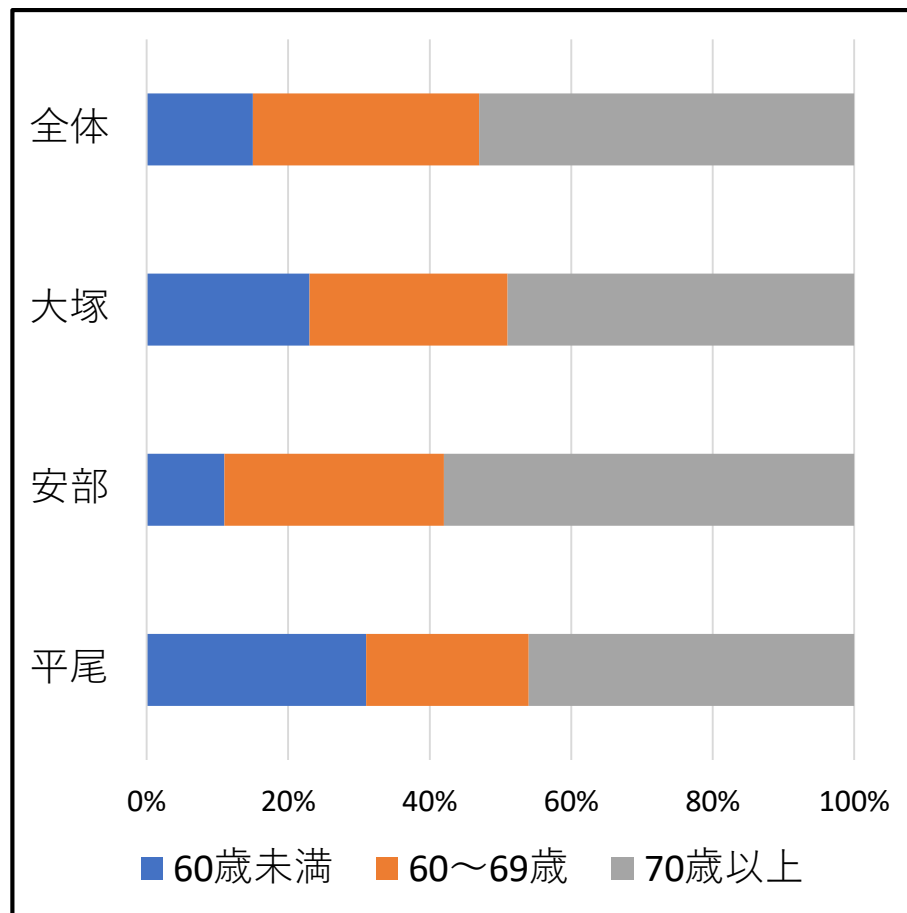
町全体における各年齢の構成比

60歳未満	15%
60～69歳	32%
70歳以上	53%

大塚地区では、60～69歳の割合は全体より少ないものの、60歳未満の割合が全体より多く、これらの合計は70歳以上の割合より多くなっている。

安部地区では、60歳未満の割合が特に少なく、70歳以上の割合が全体より多い状況となっている。

平尾地区では、60歳未満の割合が3割を超えており、上郷地区において最も70歳以上の割合が低い。



耕作状況について

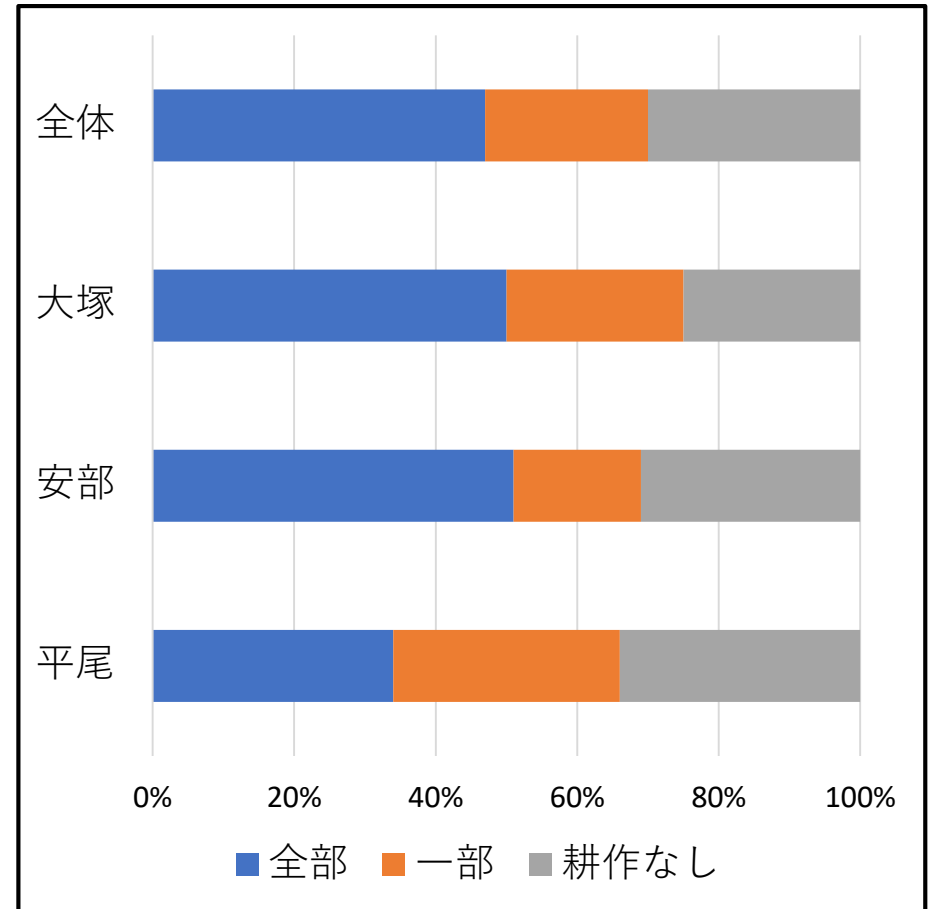
町全体の耕作状況の構成比

全部自作している	47%
一部自作している	23%
耕作していない	30%

大塚地区は、一部でも耕作している方の割合が上郷地区で一番多く、耕作を行っていない方の割合が3割を切っている。

安部地区は、全部自作している方の割合が上郷地区で一番多いが、耕作を行っていない方の割合は全体と大きく変わらない。

平尾地区は、一部自作を行っている方の割合が一番高いが、全部自作している方の割合が最も低く、耕作していない方の割合が上郷地区で最も高い。

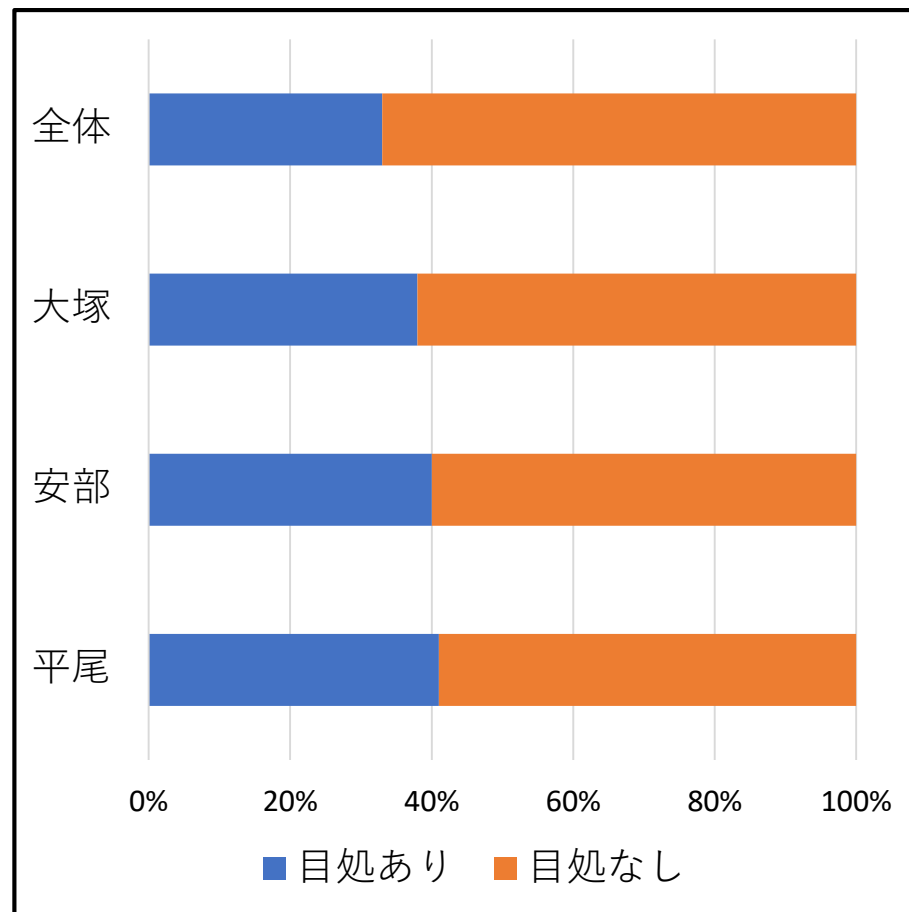


後継者について

町全体における後継者の状況

後継者の目処あり 33%
後継者の目処なし 67%

いずれの地区においても、後継者の目処がある方の割合が全体より高くなっており、4割に近い数値となっている。



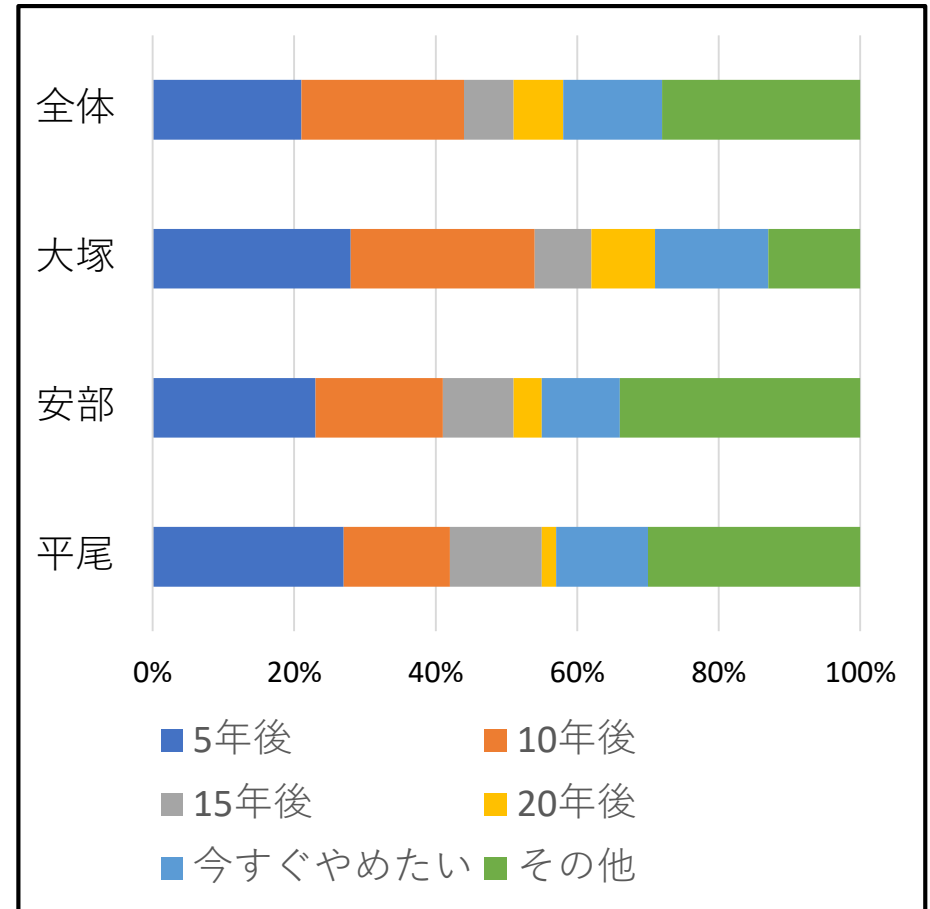
営農継続期間について

町全体における営農継続期間の状況

5年後まで継続	21%
10年後まで継続	23%
15年後まで継続	7%
20年後まで継続	7%
今すぐやめたい	14%
その他	28%

大塚地区では、15～20年後まで継続する方の割合も全体と比較して多い一方で、「今すぐやめたい」も含めた10年以内に営農終了を考えている方の割合が70%となっている。

安部地区、平尾地区については、「今すぐやめたい」も含めた10年以内に営農終了を考えている方の割合が全体より低いものの、割合としては50%を超えている状態である。



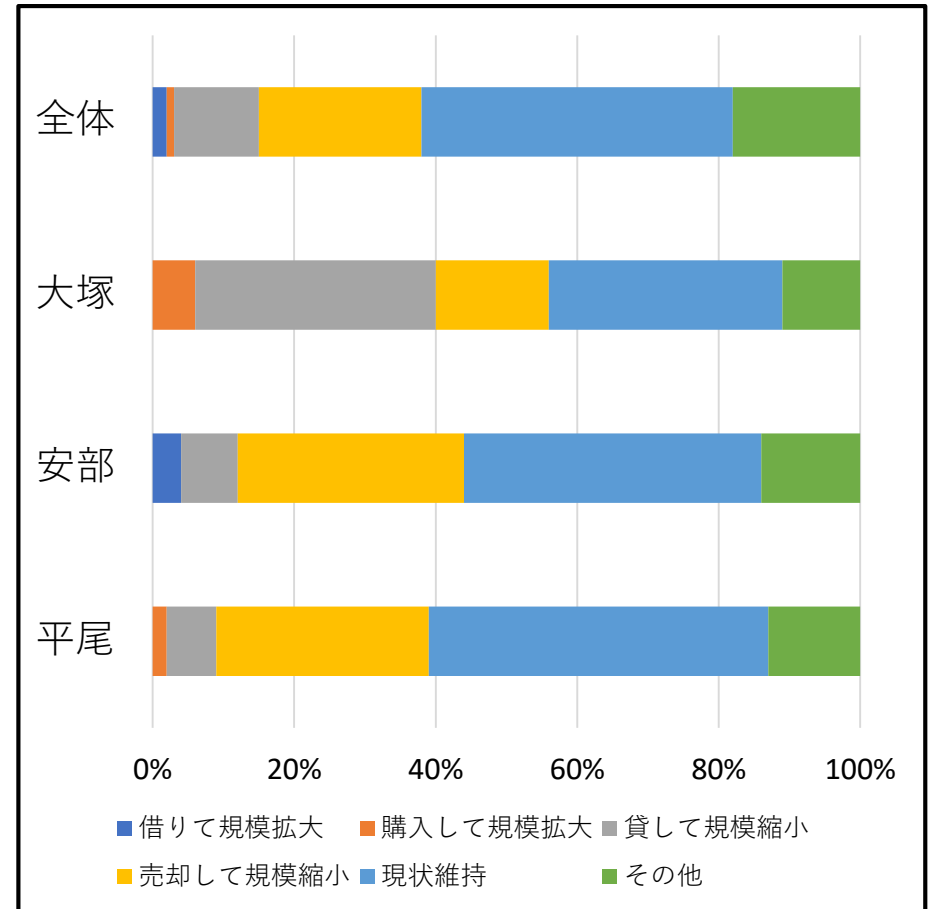
将来的な営農規模について

町全体における営農規模の状況

借りて規模拡大	2%
購入して規模拡大	1%
貸して規模縮小	12%
売却して規模縮小	23%
現状維持	44%
その他	18%

大塚地区では、現状維持を考えている方が全体と比較して低く、農地を貸して規模縮小を考えている方の割合が高い。

安部地区、平尾地区については現状維持を考えている方は全体と大差ないが、農地を売却して規模縮小を考えている方の割合が高い。



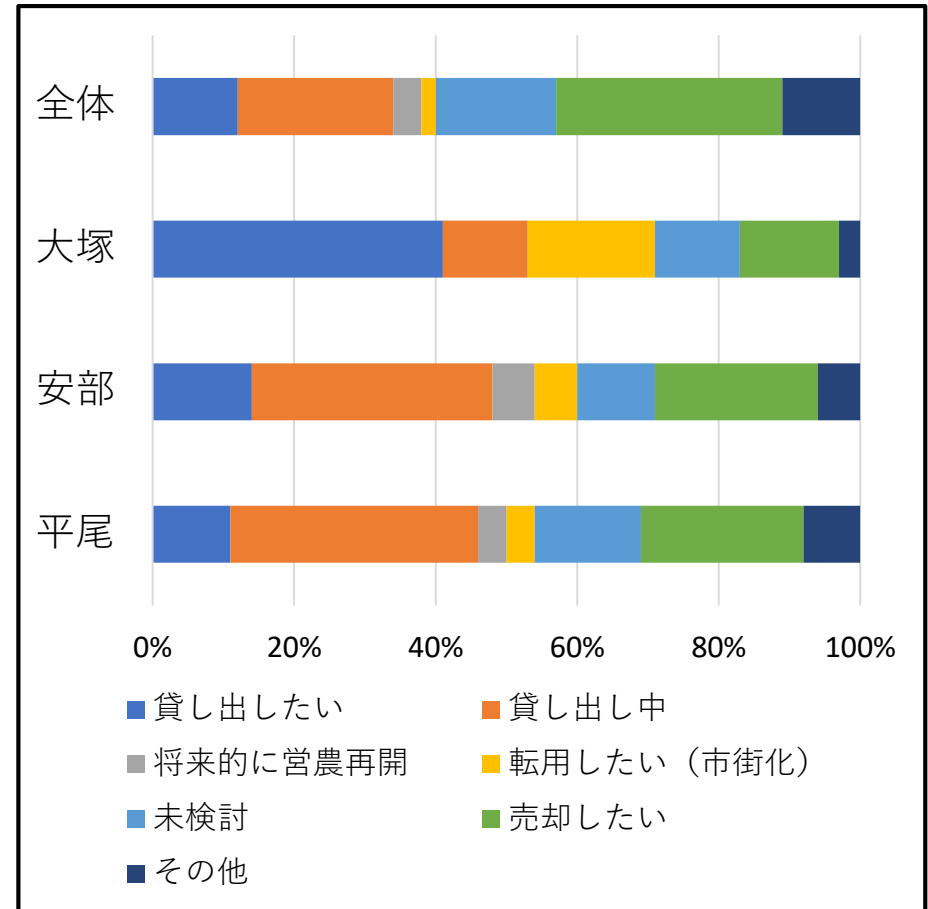
耕作していない農地について

町全体における耕作していない農地の意向

貸し出したい	12%
貸し出し中	23%
将来的に営農再開	4%
転用したい（市街化区域）	2%
未検討	16%
売却したい	32%
その他	11%

大塚地区では、貸し出したいと考えている方の割合が4割を超えている。また、転用したいという考えの方の割合も他と比較して大きくなっている。

安部地区、平尾地区については、貸し出したいと考えている方は全体とほとんど差が無いが、すでに貸し出し中である農地の割合が高くなっている。



集落における農業の発展について

集落の農業の発展において必要なものの状況

農地の集約	30%
鳥獣害対策の実施	4%
農地等の基盤整備	15%
高収益作物の作付	6%
新規就農者の育成	4%
集落営農による外部人材雇用	13%
その他	28%

いずれの地区においても、農地の集約が必要であると考えている方の割合が多く、全体の数値を上回っている。

一方で、高収益作物の作付による収益向上を考えている方の割合は全ての地区において少ない。

